

科目名	解剖学 1							年度	2024
英語科目名	Anatomy 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 1 年次	必／選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義
担当教員	砂川正隆	教員の実務経験		有	実務経験の職種		歯科医師		
【科目の目的】									
医療を志す者にとって基本的な学問であり柔道整復師として人体の構造を立体的に把握できることを目的とする。									
【科目の概要】									
人体のしくみと成り立ちを学ぶ学問であり、疾病の原因またはその治療にあたる人には欠かすことのできない学問です。各器官を系統立てて学びます。									
【到達目標】									
人体の構造を理解し、臨床医学を理解する上の基礎を培うことが目標となる。単なる名称の暗記ではなく、その構造の意味を常に考え、理解するように心がけること。									
【授業の注意点】									
医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。また、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	解剖学の意義について完全に理解している。	解剖学の意義について大体理解している	解剖学の意義について部分的に理解している。	解剖学の意義についての理解がやや不足している。	解剖学の意義について理解していない。				
到達目標 B	解剖学用語について完全に理解している。	解剖学用語について大体理解している	解剖学用語について部分的に理解している。	解剖学用語についての理解がやや不足している。	解剖学用語について理解していない。				
到達目標 C	細胞および組織について完全に理解している。	細胞および組織について大体理解している	細胞および組織について部分的に理解している。	細胞および組織についての理解がやや不足している。	細胞および組織について理解していない。				
到達目標 D	脈管系について完全に理解している。	脈管系について大体理解している	脈管系について部分的に理解している。	脈管系についての理解がやや不足している。	脈管系について理解していない。				
到達目標 E	消化器系について完全に理解している。	消化器系について大体理解している	消化器系について部分的に理解している。	消化器系についての理解がやや不足している。	消化器系について理解していない。				
【教科書】									
教科書（解剖学―社団法人全国柔道整復学校協会監修―）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】									
試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		解剖学 1			年度	2024
英語表記		Anatomy 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概説1/概説2	解剖学の意義と分類について。	1 肉眼解剖学	系統解剖学・局所解剖学・体表解剖学の分類を理解する。	3	
			2 顕微鏡解剖学	光学顕微鏡・電子顕微鏡および分子生物学的手法について理解する。		
			3 発生学	受精卵が増殖、成長して成人になるまでの過程を理解する。		
2	概説3/概説4	解剖学用語について。	1 意義	人体各部の名称およびその位置と方向を理解する。	3	
			2 方向と位置を示す用語	垂直・水平・矢状・正中・前頭などについて理解する。		
			3 人体各部の名称	頭・頸・体幹・上肢・下肢と区分について理解する。		
3	概説5/概説6	細胞および組織について。	1 細胞とは	人体を構成する最小単位について理解する。	3	
			2 細胞の形態と内部構造	細胞膜・核・細胞質について理解する。		
			3 組織の分類と特性	上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織について理解する。		
4	概説7/概説8	人体の発生について。	1 人体の発生	生殖細胞・性染色体について理解する。	3	
			2 各組織・器官の発生	各胚葉から分化する主要な組織と器官について理解する。		
			3 器官系	10系統の区分について理解する。		
5	概説9/概説10	人体の区分について。	1 区分	体表の境界線について理解する。	3	
			2 細区分	疾患の部位などを指摘する区分について理解する。		
			3 人体の区分線	体幹の横断的レベルを示すことについて理解する。		
6	脈管系1/脈管系2	総論について。	1 肺循環	右心室から左心房にかえる経路について理解する。	3	
			2 体循環	左心室から右心房に戻る経路について理解する。		
			3 血管の形態と構造	動脈と静脈からなることについて理解する。		
7	脈管系3/脈管系4	心臓について。	1 心臓の位置と形態	縦隔に存在することを理解する。	3	
			2 心臓の構造	血液を通す中空器官であることを理解する。		
			3 刺激電動系	収縮のための興奮を伝達することを理解する。		
8	振り返り	前期1回～7回の講義の振り返り。	1 細胞・組織・発生	細胞とは・組織とは・人体の発生について理解する。	3	
			2 解剖学用語	意義・用語・名称を理解する。		
			3 脈管系	肺循環と体循環、心臓について理解する。		
9	脈管系5/脈管系6	動脈系について。	1 大動脈	上行大動脈・大動脈弓・下行大動脈について理解する。	3	
			2 頭・頸・体幹の動脈	大動脈弓の枝、大脳動脈輪、胸大動脈と腹大動脈について理解する。		
			3 四肢の動脈	腋窩動脈～尺骨動脈、大腿動脈～足背動脈を理解する。		
10	脈管系7/脈管系8	静脈系について。	1 上大静脈・下大静脈	腕頭静脈、頭・頸部の静脈、壁側根と臓側根を理解する。	3	
			2 門脈	腹腔内臓の静脈血を集め肝臓へ導く血管であることを理解する。		
			3 骨盤部・下肢の静脈	総腸骨静脈、外腸骨静脈、大腿静脈などを理解する。		
11	脈管系9/脈管系10	リンパ系について。	1 リンパ本幹	各リンパ本幹について理解する。	3	
			2 リンパ性器官	一次リンパ器官と二次リンパ器官について理解する。		
			3 脾臓・胸腺	各位置・構造・機能を理解する。		
12	消化器系1/消化器系2	消化器の働きと構造について。	1 消化吸収	摂取した栄養分の消化吸収と老廃物の排泄について理解する。	3	
			2 消化器の大別	中腔性臓器と実質性臓器であることを理解する。		
			3 消化器の構造	粘膜・筋層・漿膜（外膜）について理解する。		
13	消化器系3/消化器系4	消化器の種類について。	1 口の区分	上唇・下唇・口角・口腔・口蓋などを理解する。	3	
			2 口腔腔・歯・舌	唾液腺の分類・歯の構造・舌の役割などを理解する。		
			3 咽頭・食道	咽頭の区分と構造、食道の分類と構造を理解する。		
14	振り返り	前期9回～13回の講義の振り返り。	1 解剖学用語	意義・用語・名称について理解する。	3	
			2 脈管系	動脈・静脈・リンパについて理解する。		
			3 消化器系	消化器の働きと構造・種類を理解する。		
15	解剖学1のまとめ	前期の解剖学1全体の振り返り。	1 細胞と組織	細胞とは・組織とは・人体の発生・解剖学用語について理解する。	3	
			2 脈管系	肺循環・体循環・心臓の構造・動脈・静脈・リンパについて理解する。		
			3 消化器系	消化器の働きと構造・種類を理解する。		

評価方法：1. 小テスト、10. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等